

無収縮セメント スラリー プレミックスタイプ

太平洋 U-LOX セメント



U-LOX CEMENT

太平洋ユーロックス セメントは、石灰系膨張材を基材とした無収縮性混和材に厳選されたセメントを配合した高性能無収縮セメント（スラリータイプ）です。高い流動性を有するため、小間隙へのスムーズな注入施工が可能です。また、現場で細骨材と混合することで、無収縮モルタルとしても使用できます。



特長

1 プレミックス

無収縮性混和材とセメントがプレミックスされているため、現場で複雑な計量作業を必要としません。

2 高流動性・小間隙充填

高い流動性を有するため、数mm～数cm（目安：3～30mm程度）の狭い間隙への充てんが可能です。

3 無収縮性

無収縮性を有するため、充てん後の部材一体化がはかれます。

4 強度特性

短期から長期にわたり安定した強度特性を示します。

5 モルタル使用可能

無収縮セメントスラリー以外にも現場で細骨材を混合することで、無収縮モルタルとしても使用可能です。

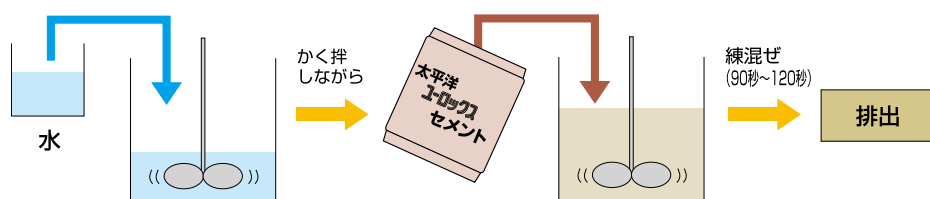
標準配（調）合

用途	使用温度範囲 (°C)	目標コンシステンシー J ₁₄ ロート流下値 (秒)	区分	太平洋 ユーロックスセメント (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (ℓ)
無収縮セメント スラリー	5～35	4～8	単位 (kg/m ³)	1,544	494	1,000
			現場計量 (1袋)	20(1袋)	6.4	約13

注1) 1㎡あたりの**太平洋ユーロックスセメント**の必要量は約77袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

使用方法



- ・使用水量を正しく計量して下さい。
- ・練り混ぜは必ず機械練りして下さい。
(ハンドミキサ、高速グラウトミキサ等)

- ・**太平洋ユーロックスセメント**を徐々に投入して下さい。
- ・練りダマが残らないよう注意してください。

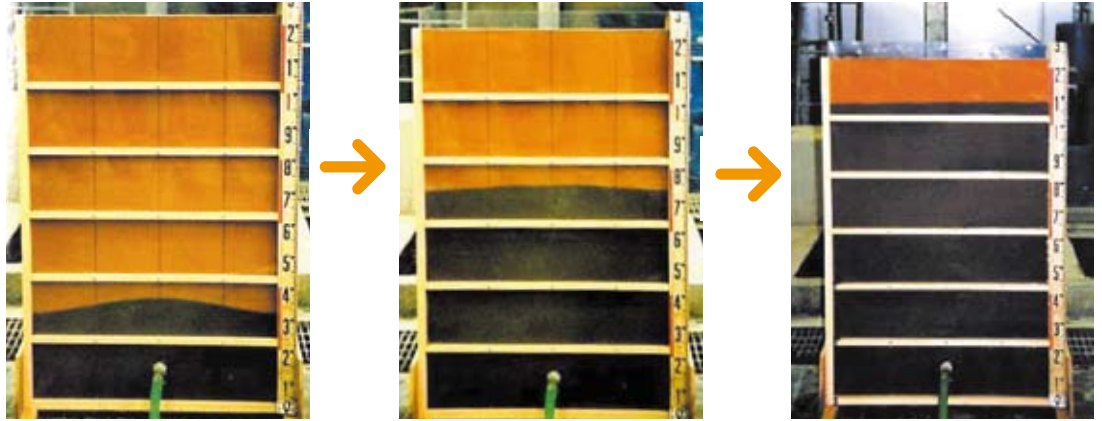
- ・練上り後のコンシステンシー（J₁₄ロート流下値）が4～8秒の範囲である事を確認して下さい。



荷姿：20kg/袋

注入試験状況

右の写真は模擬試験体（クリアランス=5mm）への注入試験状況です。**太平洋ユーロックスセメント**は流動性が高く、注入クリアランスが非常に狭い間隙へもスムーズに充填できます。



特性例

用途	太平洋ユーロックスセメント (kg)	養生温度 (°C)	練混ぜ水量 (kg)	流下時間 (秒)	ブリーディング率 (%)	膨張収縮率 (%)	塩化物量 (kg/m³)	圧縮強度 (N/mm²)				静弾性係数 (×10⁴ N/mm²)	
								1日	3日	7日	28日	7日	28日
無収縮セメントスラリー	20(1袋)	5	6.7	4.7	0.0	+0.35	—	7.1	25.2	46.3	53.8	—	—
		20	6.4	4.8	0.0	+0.85	0.20	29.6	45.1	56.5	65.4	1.70	1.90
		30	6.2	5.1	0.0	+0.83	—	37.4	48.9	58.1	67.0	—	—

■備考 (気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により水量は若干変動します)

流下時間 : JSCE-F541 に準ずる (J₁₄ ロートによる)

ブリーディング率 : JIS A1123 に準ずる

膨張収縮率 : JSCE-F542 に準ずる (材齢 7日)

塩化物量 : JASS 5T-502 に準ずる

圧縮強度 : JIS A1108 に準ずる

静弾性係数 : JIS A1149 に準ずる

無収縮モルタル 配(調)合 (細骨材を混合する場合)

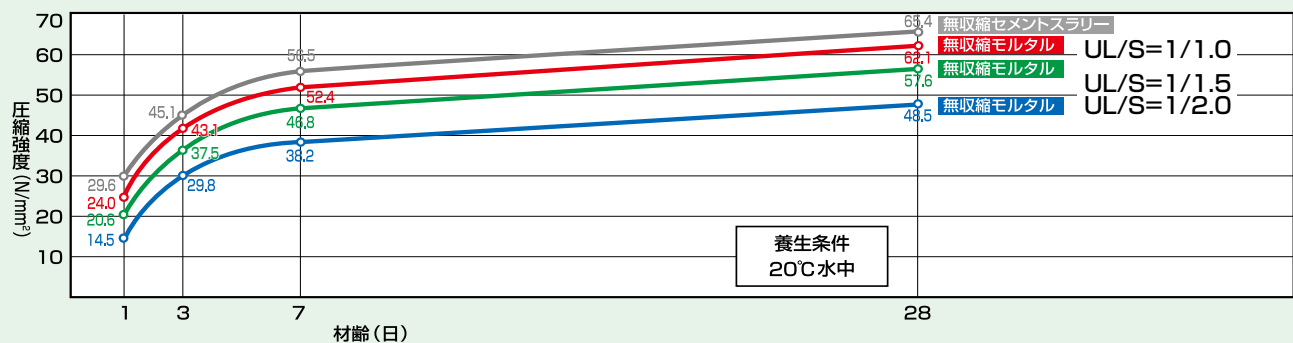
用途	目標コンスタンス J ₁₄ ロート流下値(秒)	UL/S	現場計量 (kg)			練上り量 (ℓ)	単体量 (kg/m³)			練上り量 (ℓ)
			UL	W	S		UL	W	S	
無収縮モルタル	5 ~ 11	1/1.0	20(1袋)	7.2	20	約21.5	930(約47袋)	335	930	1,000
		1/1.5	20(1袋)	8.0	30	約26.6	752(約38袋)	301	1,128	1,000
		1/2.0	20(1袋)	9.2	40	約31.7	630(約32袋)	290	1,260	1,000

注1) 表中の UL= 太平洋ユーロックスセメント (密度: 3.21g/cm³)、W= 練混ぜ水、S= 細骨材 (表乾密度: 2.60g/cm³・粗粒率: 2.70)

注2) 外気温度、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

注3) 細骨材はセメントスラリーを練混ぜ後投入し、混合してください。

圧縮強度



太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
北東北営業所	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16-15 保科済生堂ビル2F	☎019-908-2400
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5242
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
北陸営業所	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビルディング	☎076-234-1670
静岡営業所	〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2-2-1 セキスイハイムビルディング8C	☎054-685-8333
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663

使用上の留意事項

- ①練混ぜ温度は、5～35℃の範囲として下さい。なお、夏場などの施工箇所が高温である場合には、材料を出来るだけ気温の低いところに保管し、あらかじめ冷却した練混ぜ水でモルタルの練上り温度がなるべく30℃以下になるようにして下さい。
- ②練混ぜは機械練りで90～120秒程度とし均一に練混ぜて下さい。アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- ③充てん中は必ず充てん状況の確認をするとともに、充てん後は湿潤養生を行って下さい。
- ④高温時(30℃以上)には施工箇所に直接日光が当たらないように養生して下さい。
- ⑤あらかじめ施工面は吸水防止措置を講じて下さい。
- ⑥材料の保管には雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆って下さい。
- ⑦本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、御不明な点は弊社まで御相談下さいませよう願致します。



安全上の注意事項



本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚・及び衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用の上で使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。
- 本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。